

図書館の職員さんに聞いてみよう！

本のはなし

話題の
新刊本！

(一般書)

ばあさんは 15 歳
著：阿川 佐和子
出版：中央公論新社

(児童書)

ねずみくんとおながくかい
作：なかえ よしを
絵：上野 紀子
出版：ポプラ社

高校入学を目前に、ふとした異変で昭和にタイムスリップした菜緒。愛想なしの祖母を相棒に東京タワーから始まる物語は、出会いと発見にあふれ…。孫娘とばあさんの時をまたぐ冒険を描く。『読売新聞』連載に加筆して単行本化。(中央図書館所蔵)

どうぶつたちの個性を生かした展開はおなじみですが、ちいさいねずみくんが、おおきなグランドピアノをひけるなんて、思っただけでうれしくなってしまうます。音楽が聞こえてきそうな楽しい作品です。
(中央図書館所蔵)

図書館からの
まめ知識

Vol.87

本屋大賞作品を読もう！

本屋大賞は、全国の書店員が年に1度、おすすめの本を選んで投票で決定される賞です。

今回は、18回目となり、2019年12月～2020年11月の間に刊行された日本のオリジナル小説が対象です。

大賞受賞は、『52ヘルツのクジラたち』(町田そのこ：著)、2位『お探し物は図書館まで』(青山美智子：著)、3位『犬がいた季節』(伊吹有喜：著)です。

図書館では、10位までの受賞作品をはじめ、翻訳小説部門受賞や、発掘部門受賞などの本も貸出しています。

予約者が多い本は、しばらくお待ちいただくこともあります。ぜひこの機会にお気に入りの本と出会っていただければと思います。

図書館からのお知らせはP25

自衛官募集相談員委嘱式

4月21日

自衛官募集相談員の委嘱式が市役所で行われ、市長と自衛隊奈良地方協力本部長の連名により、次の8人の方が委嘱されました。

自衛官募集相談員とは、志願者へ自衛官の職務内容などの情報提供や、志願者を自衛隊奈良地方協力本部へ紹介していただくなど、地域と自衛隊の架け橋として自衛官等の募集事務にご協力いただく方々で、任期は令和5年3月31日までの2年間です。



▲遠藤賢さん、大澤正昭さん、森井道雄さん、高尾晃さん、堀山弘行さん、三井戸章さん、竹岡宏さん、宮北和重さん(順不同)

交通安全キャラバン隊が来庁

4月7日

桜井・宇陀・東吉野地区交通対策協議会と桜井警察署が協働して結成した「交通安全キャラバン隊」が、キャラバン隊長に任命された奈良県警のマスコットキャラクター「ナポくん」とともに桜井市、宇陀市、曽爾村、御杖村、東吉野村の主要道路を啓発走行し、各市村役場において「交通安全メッセージ」の伝達式を行いました。

各市村では、一丸となって交通安全を図っていくことを確認するとともに、住民および通行車両の運転者等に、交通安全運動の周知および安全運転の意識付けが図られました。

日頃から交通ルール、マナーに気をつけて事故のない安全な宇陀路を目指しましょう。



▲▶ナポくんから交通安全のメッセージを受け取りました

にっぽんの宝物グランプリで グランプリを受賞しました

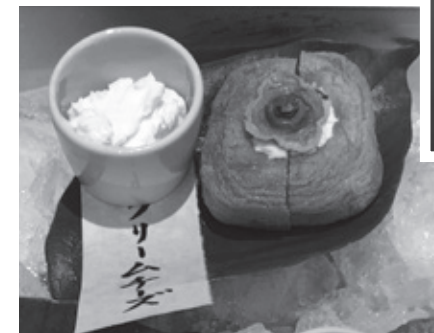
3月末に宇陀市仕事づくり推進隊を卒業し、市内でジェラート店(ジェラテリア ノンナ)を営む柏森康晴さんがにっぽんの宝物グランプリの受賞報告に市長を訪問されました。

にっぽんの宝物グランプリは、日本の良いものにスポットを当てて、後世に残すために発足した大会で、柏森さんのジェラートは五條市の無添加あんぼ柿とのコラボにより自然の優しい甘さを引き出した点が評価され、スイーツ部門でグランプリを受賞しました。

あんぼ柿ジェラートの詳細は、にっぽんの宝物 Shop のホームページよりご覧いただけます。



◀こちらより購入もしていただけます。



行政相談活動の功績を称え 総務大臣 感謝状を贈呈

3月31日をもって行政相談員を退任された東森文昭さん(室生向洸)に対し、長年にわたる行政相談活動の功績を称え、総務大臣感謝状が贈呈されました。

東森さんは、平成17年に行政相談員に委嘱されて以来16年にわたり、月1回の定例相談所、年1回の合同相談所において、市民の皆さんの相談相手として行政サービスに対する苦情や意見を受け、その解決と行政運営の改善に尽力されました。



▲感謝状を贈呈された東森さん



榛原西小学校に時計と書籍が 寄贈されました

4月20日

(株)南都銀行が企業の社会貢献の一環として発行する寄附付きSDGs 私募債の取り組みで、今西物流(株)の私募債発行記念として榛原西小学校に屋外用大型掛時計と書籍を寄贈いただきました。

校長室で行われた贈呈式には(株)南都銀行榛原支店松石支店長、今西物流(株)今西代表取締役、榛原西小学校小関校長が出席され、今西代表取締役から様々な形で地域を盛り上げていきたいという思いが伝えられました。また、校長からは感謝の意とともに、寄贈された時計で学校の目標のひとつである「時間を守ろう」を子どもたちに教えていきたいと述べられていました。



▲寄贈いただいた時計と書籍